

救助技術を競う 鹿児島県消防救助技術指導会



▲市長室にて(左から)後迫消防長、新福拓也さん、尾脇市長、内村雄太さん、園田幸平さん、

5月25日(金)、第41回鹿児島県消防救助技術指導会が鹿児島県消防学校(日置市)で開催され、垂水市消防本部から引揚救助種目に1組(5人1組)、ほふく救出種目に2組(3名1組)が出場しました。県内20消防本部より454名が出場し、救助技術8種目で日頃の訓練の成果を競いました。ほふく救出に出場した園田幸平さん、内村雄太さん、新福拓也さんは31組中、見事1位入賞の成績を収め、8月24日に京都市で行われる第47回全国消防救助技術指導会へ鹿児島県代表として出場されます。

ソフトテニスで活躍 本市出身鹿児島女子高生徒



▲市長室にて(左から)竹之下絵里さん、森遥可さん、尾脇市長、中島帆乃香さん、川井田敬可さん

5月24日(木)～26(土)、鹿児島県高校総体(インターハイ予選)が鹿児島市で開催され、鹿児島女子高等学校ソフトテニス部の本市出身、森遥可さん、竹之下絵里さん、中島帆乃香さん、川井田敬可さんが活躍しました。同校は本大会団体の部で準優勝の成績を収め、九州大会出場を決め、また、個人の部では、森さん・竹之下さんペアも準優勝となり全国大会出場を決めました。このほか、今年3月に行われた全国大会にも出場しており、躍進を続けています。今後益々のご活躍をお祈りいたします。

東京渋谷を華麗に舞う 渋谷・鹿児島おはら祭り



5月20日(日)、第21回渋谷・鹿児島おはら祭りが東京都渋谷で開催され、垂水市出身者やゆかりの方々からなる関東垂水連が14回連続で出場しました。これは、東京渋谷で鹿児島のおはら祭りを再現するもので、平成10年4月から行われているものです。当日は、渋谷駅前の道玄坂、文化村通りをメイン会場に69の踊り連、約2,600人が街を踊り歩きました。関東垂水連は、今年5名の仲間が新たに加わり約25名で「関東垂水会」のプラカードを先頭に、踊りの連を組みお祭りを楽しみました。

学んで楽しむ生涯学習 オープニングフェア



5月20日(日)、生涯学習オープニングフェアが垂水市市民館で開催され、約230名が参加しました。舞台は、スポーツ吹矢のみなさんのパフォーマンスで幕を開け、キッズ&ダンス講座のかわいい演技、垂水地区公民館合唱クラブの発表が行われました。また、昨年の学習の成果を結集した水彩画や写真、郷土史研究やカラーセラピーの作品が展示されました。受講生代表あいさつでは、スポーツ吹矢講座の山路清隆さんが「市民講座をとおして健康に、仲間を増やし、楽しんでいきたいです」と話されました。

5月23日(水)、鹿児島きもつき農業協同組合が提供した新じゃがいもが、市内小中学校の学校給食で振る舞われました。これは、鹿児島きもつき農協が農産物消費拡大ときもつき管内の農産物PRのため行われたものです。新じゃがいもは、この日の給食で「じゃがいものそぼろに」に調理され提供されました。取材を行った柘原小学校では、6年生の瀬戸口めぐみさんが「じゃがいもは大好きで、今日のじゃがいもはとてもおいしいです」と話されました。



学校給食に新じゃがいも 鹿児島きもつき農協

5月20日(日)、「子どもたちの夢と感動を育む絵画ギャラリー」オープニングセレモニーが垂水市市民館で行われました。これは、子どもたちの絵画への意欲と自信に繋がり、また、来館者にも絵画に触れ、親しむ機会となるよう、市内小中学生の作品を市民館ロビーに展示するものです。当日は、絵画を制作した児童、生徒や関係者約50名が参加し、テープカットや本市在住の洋画家葛迫幸平氏の講話等が行われました。この機会にぜひご鑑賞ください。



夢と感動を育む 絵画ギャラリー